

中部様式
(調査事業)

令和7年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

豊明市地域公共交通活性化協議会

平成28年4月1日設置

調査事業（計画策定） 令和9年3月 地域公共交通計画策定予定

実施した調査およびその結果明らかになったこと

事業内容	結果概要
①市民アンケート	市内在住の15歳以上から3,500人抽出（9月中旬） 回収数1,302票（回収率37.2%） 認知度、行きたい施設、満足度などを質問
②ひまわりバス乗降調査	平休日各1日の全便利用者を対象 平日：9/26（金） 休日：9/28（日） 回収数 平日569票 休日324票
③バス利用者アンケート	平日9/26（金）配布 休日9/28（日）配布 ①ひまわりバス：平休日各1日の全便利用者を対象 配布数390票 回収数196票（回収率50.3%） ②名鉄バス：平休日各1日の主要バス停（5か所）の利用者を対象 配布数1,540票 回収数420票（回収率27.3%）
④チョイソコ登録者アンケート	チョイソコ登録者全員を対象（10月上旬） ※世帯に複数いる場合も各個人へ送付 配布数 2,558票 回収数998票（回収率39.0%）
⑤高齢者向けインタビュー	すずしろカフェ 9/23 参加者23人 グリーフケアカフェ9/27 参加者15人 独居高齢者や認知症のご家族などの集まりで普段の移動手段、移動の困りごとなどを質問
⑥地域懇談会	各行政区から地域の代表者や公共交通に関心が高い方が参加し、 2部制で実施（11/29（土）開催） 内容 市公共交通の現状、名城大学松本教授の講演、ワークショップ 午前の部19名 午後の部20名 グループは異なる地区を混ぜて実施

実施した調査およびその結果明らかになったこと

①市民アンケート

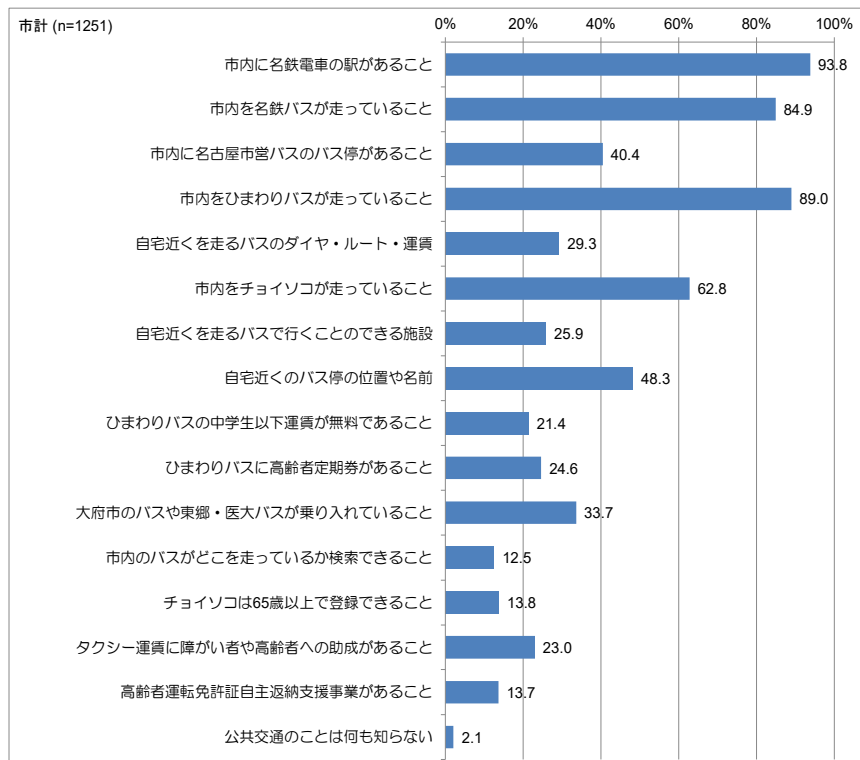
・市内公共交通に関する認知度

ほぼすべての方が市内に鉄道やバスが運行していることを知っている一方で、チョイソコの認知度は6割程度であった。また、自宅近くのバス停の位置や名称を知っている方が5割程度、自宅近くを走るバスのダイヤやルート、運賃を知っている方は3割程度であった。

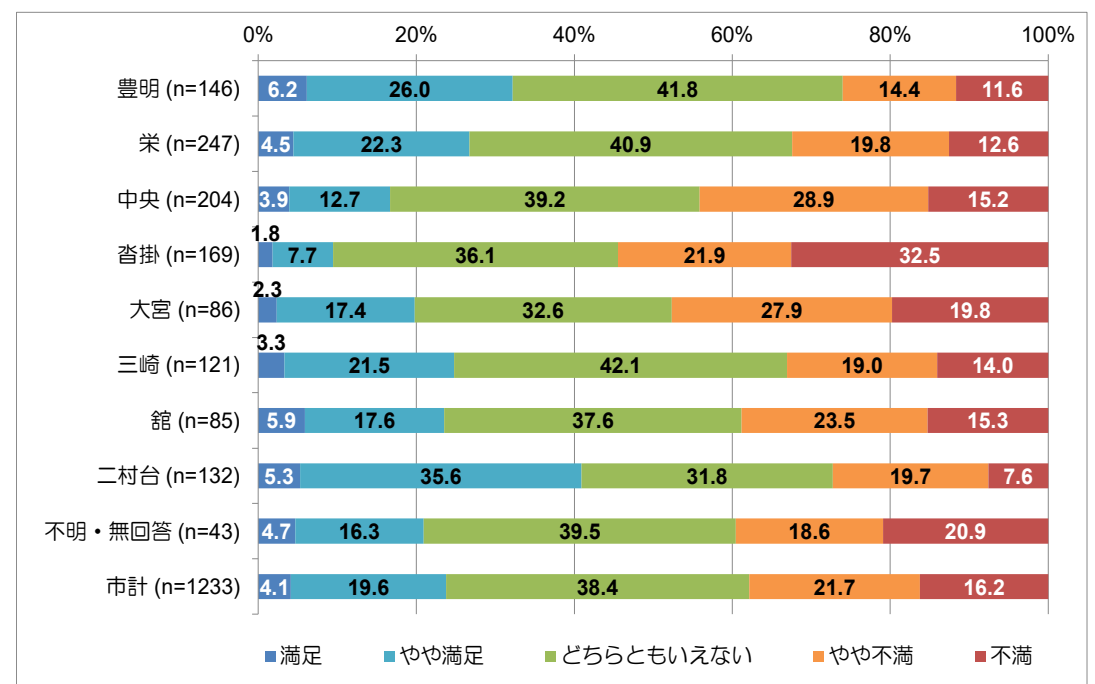
・市内の公共交通全体の満足度

公共交通全体の満足度では、満足・やや満足の割合は23.7%に対し、不満・やや不満の割合は37.9%と不満割合の方が高い。また地域による満足度の差が大きく、二村台地区は満足度が高いのに対し、沓掛地区は不満度が半数以上の割合となっている。

▼公共交通について知っていること（複数回答）



▼市内の公共交通全体の満足度



実施した調査およびその結果明らかになったこと

②ひまわりバス乗降調査

- ・利用目的は買い物、通勤の順に多い
- ・バス停別の利用者は、前後駅、市役所、藤田医科大学病院が高い
- ・便別利用者は、午前中が多い傾向にある

③バス利用者アンケート

- ・利用目的は名鉄バスは通勤、ひまわりバスは買い物、通勤が高い
- ・総合的な満足度は、名鉄バスは約64%、ひまわりバスは約58%
- ・ひまわりバスは、運行本数、ダイヤ、運行時間帯などの不満度が高い

④チョイソコ登録者アンケート

- ・運転免許の保有割合は約43%と保有していない割合の方が高い
- ・利用目的は通院と買い物が全体の約85%
- ・全体の満足度は約81%だが、項目別だと運行日、時間帯、移動ルール、停留所に対する不満割合が比較的高い傾向にある
- ・チョイソコを利用してから、外出回数やお金を使う機会が上昇した

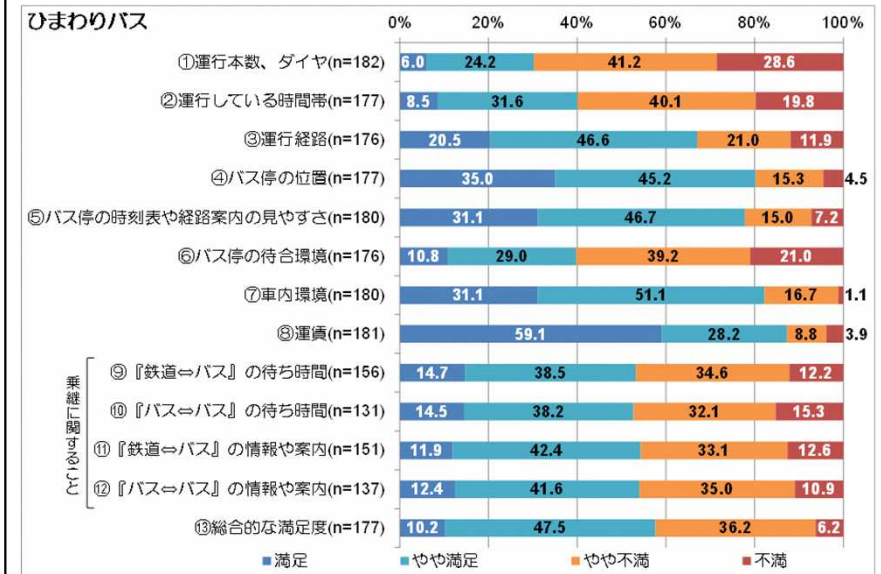
⑤高齢者向けインタビュー

- ・普段の移動手段は徒歩、自分で運転が多数
- ・困り事はバスの本数や乗り換えが不便、チョイソコの予約が取れない、車を手放したときや歩けなくなったときの不安感などが大きい

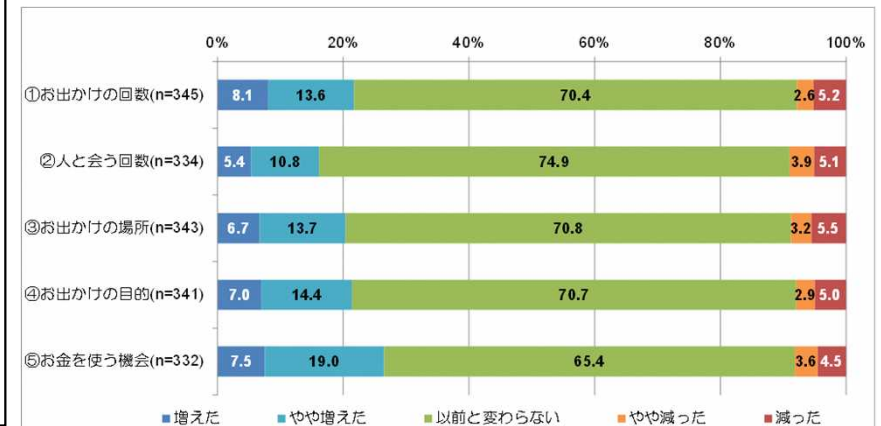
⑥地域懇談会

- ・公共交通利用への周知不足や不安感への対応
- ・バスマップやダイヤの見やすさ、チョイソコの時間やエリア、ルールなどの仕組み改善、まちづくりと連携した賑わいづくりが必要

③バス利用者アンケート サービス項目別満足度



④チョイソコ登録者アンケート チョイソコによる利用変化



調査結果の地域公共交通計画への反映

【今後の予定】

令和7年度

①豊明市の地域特性と公共交通の現況整理

②公共交通を取り巻く社会情勢の整理

※現在策定中の第4次都市計画マスタープランの調査事業と連携して現況整理を行う

③ビッグデータを活用した現況分析

豊明市内に発着地を有するODデータの発生集中特性や分布特性などを調査（具体的な内容は検討中）

④交通事業者等ヒアリング

アンケート結果等をもとに交通事業者から課題や今後の取り組みなどを聞き取り

令和8年度

調査結果をもとに課題等を整理し、地域公共交通計画案の作成、パブリックコメントの実施、計画策定（令和9年3月予定）

【評価指標案】

第6次豊明市総合計画より毎年実施する市民アンケート調査により、市民の公共交通に対する満足度を測定

公共交通機関での市内移動がしやすいと思う市民の割合

現状値（2024年度）52.7%

目標値（2031年度）64.2%

【現時点での主な方針案】

①市内公共交通ネットワークの確保・維持

鉄道、路線バス、ひまわりバス、チョイソコ、タクシー等の多様な公共交通が相互に連携し、鉄道駅や市役所などの拠点中心の公共交通体系と広域的な公共交通ネットワークを維持していく。

②移動需要に応じた公共交通サービスの拡充

市内移動に関する満足度の地域差を解消するため、特に地域交通の不便により移動が困難な人に対して、交通事業者や地域とともに特性に応じた交通施策を進める。

- ・地区間の公共交通に対する不満度の差を軽減（沓掛地区の場合、チョイソコの運行時間等を改善検討）
- ・個々の人たちに焦点を当てた交通空白の解消
- ・ひまわりバスのルートやダイヤ、乗継環境等の再考
- ・チョイソコとよあけのアップデート

③公共交通の利用促進

公共交通の周知や理解を深め、外出機会を創出するため、わかりやすい情報提供やお試し乗車券、外出の目的づくりなどにより公共交通を利用するキッカケづくりを創出する。

④地域で公共交通を育む

地域住民や企業等とともに公共交通をはじめとした地域の移動問題に対する地域内での議論を深め、一緒になって公共交通を支える仕組みを検討、実施していく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和7年12月8日

協議会名:豊明市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C評価 【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>■豊明市の地域特性と公共交通の現状整理(作業中) 第4次豊明市都市計画マスタープランの現況調査事業等を活用して現況整理</p> <p>■ビッグデータを活用した現況分析(今後実施予定) 市内に発着地を有するODデータの発生集中特性や分布特性などを調査</p> <p>■公共交通に関するニーズ調査等</p> <p>①市民アンケート 市内在住の15歳以上から3,500人抽出(9月中旬) 回収数1,302票(回収率37.2%)</p> <p>②ひまわりバス乗降調査 平休日各1日の全便利用者を対象 平日:9/26(金) 休日:9/28(日) 回収数 平日569票 休日324票</p> <p>③バス利用者アンケート 平日9/26(金)配布 休日9/28(日)配布 ・ひまわりバス:平休日各1日の全便利用者を対象 配布数390票 回収数196票(回収率50.3%) ・名鉄バス:平休日各1日の主要バス停(5か所)利用者対象 配布数1,540票 回収数420票(回収率27.3%)</p> <p>④チョイソコ登録者アンケート チョイソコ登録者全員を対象(10月上旬) 配布数 2,558票 回収数998票(回収率39.0%)</p> <p>⑤高齢者向けインタビュー 独居高齢者や認知症のご家族などの集まりで普段の移動手段、移動の困りごとなどを質問</p> <p>⑥地域懇談会 各行政区から地域の代表者や公共交通に関心が高い方が参加し、2部制で実施 内容 市公共交通の現状、名城大学松本教授の講演、ワークショップ 午前の部19名 午後の部20名 グループは異なる地区を混ぜて実施</p> <p>⑦交通事業者ヒアリング(今後実施予定) アンケート結果等をもとに交通事業者から課題や今後の取り組みなどを聞き取り</p> <p>■課題の整理及び各種調査検討結果のとりまとめ(今後実施予定)</p> <p>■協議会開催 ①令和7年8月、②令和7年12月に実施 ③令和8年2～3月に実施予定</p>	<p>公共交通に関するニーズ調査等は概ね完了</p> <p>A ビッグデータによる現況分析は、現在具体的な分析項目を検討中。今後、交通事業者ヒアリングを実施し、ニーズ調査結果等をもとに、課題の整理、各種調査結果のとりまとめを行う。</p>	<p>■補助対象事業者 豊明市地域公共交通活性化協議会</p> <p>■事業内容 ・豊明市の地域特性と公共交通の現状整理 ・ビッグデータを活用した現況分析 ・公共交通に関するニーズ調査 ・課題の整理 ・各種調査・検討結果のとりまとめ ・協議会開催</p> <p>■実施時期 着手日 令和7年5月23日 完了予定日 令和8年3月31日</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月8日

協議会名:

豊明市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:

豊明市地域公共交通調査事業

地域の交通の目指す姿
(事業実施の目的・必要性)

アフターコロナの現在、新たな生活様式での行動変化(在宅勤務や配達手配など)により外出率が減少している当市の公共交通においても、利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ前の水準に戻っていない。一方で、地域公共交通に関する地域の要望は年々増加傾向にあり、誰もが安心して生活できる環境づくりが必要である。今後、需要に応じた地域公共交通サービスの確保・維持等が必要である。

第6次豊明市総合計画策定に伴う市民意識調査(令和5年度)の結果、豊明市の良い点として、名古屋市や周辺都市への交通利便性が高いと評価される一方で、豊明市の悪い点として、市内移動の利便性が低いと評価されている。また、市が推進している施策40項目のうち、重要度が高く不満度が高い項目として公共交通が該当しており、あらゆる施策の中でも、多世代で公共交通に対する市民の期待値が高い状況にある。

現行の豊明市地域公共交通計画が令和9年3月で終期を迎える。現在、第6次豊明市総合計画(令和7年度策定)及び第4次豊明市都市計画マスタープラン(令和8年度策定)を策定予定のため、市の方針やまちづくりと連動した新たな地域公共交通計画を策定する必要がある。